

## Identifying predictive clinical characteristics of the treatment efficacy of mirtazapine monotherapy for major depressive disorder

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-01-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 堤, 多可弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032395">https://doi.org/10.20780/00032395</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 692 号	氏 名	堤 多可弘
審 査 委 員 会	主 査 教 授	西村 勝治	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究は新規抗うつ薬の一つであるミルタザピン単剤治療における有効性とその予測因子について検討した最初の研究である。結果として、治療前の抑うつ症状のうち、自責感がないことと制止症状があることがミルタザピンの有効性を予測する因子であることが実証された。</p> <p>ミルタザピンはシナプス前膜にある <math>\alpha 2</math> 受容体に対してアンタゴニストとして作用してノルアドレナリンとセロトニン (5-HT) の神経伝達を増強し、また 5-HT<sub>1A</sub> 受容体のみを特異的に活性化することで抗うつ効果を発揮する。このような作用プロファイルを有する抗うつ薬がうつ病のどの症状に有効であるかを検討することは、うつ病のサブタイプを同定するための有力なエビデンスとなる。</p> <p>論文として研究目的、研究方法、結果が明確に呈示されており、統計的解析も適切に行われた。考察でも本研究の限界、将来への展望が明記されており、学位に十分に値する論文と思われる。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			